ナンバリング	Ť L			授業科	月名(科目の	英文名)				区分	· 【新	主題】	/ (分	野)		授	生化業	<u>.</u>	_
EU41C402		不自由児の理! bilities)	解と支援(Under			ting children	with physical		Ē	。 度専門								_	
		,		,,, ,,=		1				,	<b></b> –								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	氏名 古賀精治	台・古長治基・五位	位塚和	也	担当	教員								_
選択	2	1	教育学研究科	後期	金4														
送扒	2	'	教育子\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1女刑	並4	E mail alcan	anaita u aa in	م ما ما	ha@a:4.		یا دا	~a:+		: 4a	in	<b>+</b>	<b>=</b>		
授 脳性マヒ児	等の肢化	<u> </u> 本不自由児もし	   _くは動作に不	自由のあ	 る知的障害児		a@oita-u.ac.jp, 二毎回大学に来て=											法を	
業際にマンツ	ノーマン	で行うことに。	よって、障害の	ある幼児	児童生徒の「	「身体の動き」に	関する知見及び	具体的	な実態	巴握と	指導の	方法に	ついて	実践で	を通して	て学ぶ。	,		
の 概																			
_要│ 具体的な到達目										DD ***	<b>Ω</b> ₩¢	/ Dil == :	<del>4</del> 177 \	4 0	3 4		-   <i> </i>	ТаТ	
		 の運動・動作の	の発達の特徴に	ついて修	 得することが	 バできる。				UP守	の対応	(か)を	参照)	1 2	3 4	5 6	/ (	9	10
						うることができる	<b>5</b> .											Ш	
						<b>引することができ</b>		<u> </u>	<u> </u>		1 10-							$\dashv$	
目標4 放体化	、目田児1	で連動・動作は	こ小目田のある	知的障害.	児との動作を	とかしたコミュニ	「ケーションの取り	)万を:	身につ	<b>するこ</b>	とかで	<u>ె</u> రే రే.					$\vdash$	++	
目標6																		$\pm \pm$	
目標7																		$\perp$	
目標8																		++	_
目標10														+	+	$\vdash$	$\vdash$	++	_
授業の内容																			
1 肢体不自由																			
2 肢体不自由 3 障害のある			D実際 ュニケーション・	の基礎的は	 能力に関す <i>る</i>														
			ミュニケーショ			V / W 10 11 E													
			こ関する実態把																_
			こ関する指導 1 こ関する指導 2			•												—	_
			ひ習得に関す																
9 上肢・下肢	の運動	・動作の改善及	及び習得に関す																
10 身体の移動				7. / <del>*</del>															_
11 身体の移動 12 身体の移動			- 重心移動と踏。 - 歩行 -	か締め -															_
			する実態把握と	指導															
			実態把握と指導																_
15 指導結果の ラ ァ A:知識の			則として一人の	)暗実児の	治道を継続	して担当する		1	1										_
Ι ク B:意見の	表現・	交換 次	X, C 0 C / X s	71+ 11 70 47	JIH Chenot	0 (1_1 / 0.		工 そ 夫 の											
ニ テ ン ィ C:応用志	向							他の											
グ ブ D:知識の	活用・倉		を事前に精読し	アヤノー	۲ (15h)														
時間外学修 👱		しにノリントで	と争削に相配し	(0/	د ( اعاا ) 。														
1810787 1 -		県脳性まひ児	・者父母の会が	主催する	月例会や夏の	木みを利用した	集団宿泊集中訓練	キャン	プで研	修の機	会があ	るので	で、で	きるだ	け参加	するこ	٤.	( 30h	n )
字	<u>修</u>  。 こ使用し	 ない。適官、	 プリントを配布	 iする。														—	_
教科書	- 12713 0		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , ,															
Г4	크미古坪	学校教育 更領	• 学翌指道亜鉛	i 報 並 白	立活動館.	(平成30年3月	→ 郊利学公 )												_
							ナカニシヤ出版	ISBN	-13 9	78-477	950899	08)							
										=	_ <del>_</del>								
成評価方法								割合	目標	目標 2	目標   3	目標 4	目標 5	目標 6	目標   7	目標   8	目標   9	目 10	
績 実技の課題	達成度							50%											
価討論への参	加度や	貢献度等の平常	点					20%										_	_
の 学期末レホ	<b>√</b> − ト							30%										+	_
法 及																		+	
び																			
評																		+	
割																		Щ	_
合																			
それ 注意事項	<b>ルぞれ</b> ー	人の子どもを	担当するので、	社会的責	任を自覚し、	参加すること。	運動できる服装	で出席	するこ	と。									-
なし	1-																	—	
備考	<b>-</b> 0																		
リンク																			
' '   U	RL																		

担当教員の	
実務経験の 有無	
有無	
教員の実務 経験	名 公認心理師・臨床心理士